

令和5年度第3回西淀川区教育行政連絡会（中学校）議事要旨

日 時：令和6年1月29日（月）14:30～15:20

場 所：区役所会議室

出席者：（学校）淀中学校、西淀中学校、歌島中学校、佃中学校 各校校長先生

（区役所）区長 中島、副区長 難波

こども福祉担当課長 横内、担当課長代理 椿野、担当係長 向井、係員 播谷 加藤

○事務局から開会の挨拶

○区長挨拶

○令和6年度西淀川区が実施する学校教育関連事業について

事務局から令和6年度西淀川区の教育担当で実施する事業について資料にそって説明

・基礎学力の向上事業（次長枠）

：中学校：漢字検定・文書検定、実施後の表彰状の作成
に～よん模試

・スクールボランティア支援事業（次長枠）

・民間事業者を活用した基礎学力支援事業（次長枠）

：小学校5年生・6年生及び中学生が対象

・こどもサポートネット事業

：デキタスが利用できる。ID パスワードを付与。

・スクールカウンセラー事業

：令和6年度より西淀川区内全校に週に1回配置となる形で予算要求している。

・ブロック化による学校支援事業のメニューが、西淀川区次長枠の「基礎学力の向上事業」と似たようなメニューになっている。どの学年にどの事業をあてるのか、あらかじめ検討頂き、2つの事業の概要を把握して、過不足のないように申請をいただきたい。

・学校単位の事業が廃止されました。

○令和6年度学校協議会委員推薦の為の事前協議について

○意見交換

・令和6年度ブロック化事業の「学校単位の事業」が廃止。

（歌島中学校）

不登校の生徒が登校する教室準備にあたり予算がないので困っている。

自由度のある予算枠を設けるか校長経営戦略支援予算の加算配付枠を再開してもらいたい。

（西淀中学校）

検定のような予算はたくさん取って頂いているが、結果を受けて学校として学力を上げる為にどうするかと言う所に予算をあてる事ができない。

ブロック会議で検討頂きたい。

（区長）

来年度は間に合わないですが、今日、受けました意見は大事な所だと思いますので、次のブロック会議で話をさせていただきます。

(区長)

少子化でそもそものこどもの人数が減っている。学校選択制や適正配置など、今後の推移をみて考えていく必要がある。

・学校や学校協議会などの主な意見について

(歌島中学校)

地域との繋がりはたいへん重要であると認識しているが、教職員の働き方改革を考えた場合、行事や会議の精選をしていく必要に迫られている。

(区長)

地域の役員の方、PTAの方とのジェネレーションギャップがあると思われる、各世代意見を出し合い、お互いの考え方を変えていく必要が有るように思います。

(西淀中学校)

すべてをコロナ前に戻すのではなく、どのように変わっていくべきなのかを考えることが学校に求められていると思う。

(淀中学校)

地域との連携という事はいつも話をしているが、やはり若い人たちのライフスタイル・教職員の勤務状況等が変わってしまっているので、手間や金銭的な面でもコロナ前の状況に戻すのはしんどい。淀中ブロックとしてやっている取組は、他に類のない良い取組で子ども達の為にも続けて行く必要があるという事は、どの世代も意見は一致しているが、やり方についてはいろいろと意見がある。実施方法について今後の課題と考えている。

・不登校について

(歌島中学校)

不登校生徒がチャレンジルーム（不登校対応教室）に登校できるよう工夫している。来年度からは「通級指導」が開始されるため、チャレンジルームと併せて、個に応じた対応を協議している。

(区役所)

区役所では、こどもサポート推進員2名とスクールソーシャルワーカー2名の計4名で事業を行っているが、支援対象者が190名弱いるので、足りていない。

何か、不登校の支援で学校からの要望等がありますか？

(歌島中学校)

やはり、予算立てで、職員の配置をお願いしたい。

(区役所)

来年度教育委員会は、不登校特例校や「スペシャルサポートルーム」を作っていくと聞いている。区役所は学校を支援したいと考えている。